



スクールサポーター  
(臨床心理士)  
小林 真理

手を出すより見守る

例えばこんな状況をイメージしてみてください。幼稚園や保育園の年中や年長の子どもが、自分で回して開ける広口タイプの水筒のふたを開けようとしています。なかなか手ごわいようで、キュと回ることもなく、いろいろな持ち方や力の入れ方をしながら、なんとか自分でふたを開けようとしています。しばらく見ていると、キュと圧の抜けるような音がしてふたが回りまわりました。その瞬間、いきおいあまって、中の水がこぼれて、洋服が少し濡れてしまいました。

この状況だった場合、みなさんならどうしますか？日常生活の慌ただしい時間の中ではありがちなことかもしれませんが、「一番良くないのはこぼしてしまった事実、洋服を濡らしてしまった事実だけに對して「もう、なにやっ

の」と注意や叱責をしてしまうことですね。

上に挙げた例以外にも、小さい子が自分でくつを履こうとしてもなかなか履けない時にさっと履かせてしまったら、小中学生が地道に宿題などの問題を解いている時に、思わずアドバイスのつもりで答えを伝えてしまうこと、初めてスマホやタブレットを持ってその操作を会得しようとしている人（これは中高年の方が多い？）に對してパッと操作してしまう場面など、何かを「できるようになる」としていている時に、相手のことを思って「やっであげる」とか結果的に相手のためになっていないこと、というのは日常生活の中でよくあることなのではないでしょうか。

待てる状況なのか、時間がない状況なのかにもよりますが、子ども（大人の場合のスマホも同様？）が自分で思考錯誤して「できた」という体験を重ね、自己肯定感や達成感につながるには、手を出したりやっであげるよりも見守ることがとても大切になってきます。見守る側にすれば、時間もかかるし、場合によってはイライラしてしまうことも当然あることでしょう。やっであげれば楽だし、スムーズなことでもたくさんあります。でも、「やっであげる」とか「な

てしまう」とか「な」を重ねてしまうことってなるのでしょうか。

子どもの場合、発達のその時々において心身が成長し、できることを増やしながらか、その後の発達段階で何か活動したり考えたりする際の知識・経験などを積み重ねていきます。そしてこの積み重ね自体が「成長」の過程となっていくと思います。「やっであげる」と「を重ねると、子どもの成長を知らず知らずのうちに妨げしてしまうことにもなりかねないのです。

しかし、見守るといっのは、「放っておく（実際は見ている）」のとは違います。「相手のことを思ってやらせておく」と言いつつ、冒頭の水筒の例で言えば「見ていない」状況で「こぼれている」「洋服が濡れている」という結果で注意や叱責をしてしまう、ということになりがちです。

「見守る」のはもどかしいことも当然ありますが、「見ているよ」「いつでも助けるよ」というスタンスで「いる」ことなのではないでしょうか。できるよになったことを喜びつつ、成長を見守ることを心がけていきたいものですね。

図書館コーナー

◆中軽井沢図書館

イベントのご案内

◎青木館長朗読会

「夢十夜」 夏目漱石 著  
とき 10月10日(出)  
14時から15時まで

◎おはなしツリーによる

おはなしの会

テーマ「秋」  
とき 10月18日(日)  
10時30分から  
ちいさなおともたちの  
おはなしの会  
とき 10月12日(月・祝)  
10時30分から

◎図書館友の会

「図書館研究会」

テーマ「ビブリオトークについて」  
とき 10月21日(水)  
13時から

「実験劇場」

大人向けの英会話

テーマ「戦争と平和」  
とき 10月21日(水)  
15時から

◎秋の写真展

とき 10月11日(日)から  
24日(土)まで

軽井沢デジタル写真クラブと写真会が出品します。

◎図書館本の「リサイクル市」

(保存期間経過雑誌等無料提供および「図書館友の会」による大槌町立図書館支援のための「古本まつり」)  
とき 10月18日(日)  
10時から

新しい本が入りました!

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 激動 東京五輪1964   | 藤田宜永 ほか 著     |
| 薬石としての本たち     | 南木圭士 著        |
| 服従            | ミシェル・ウエルベック 著 |
| 50代からの成功リフォーム | 主婦の友社 編       |
| ふまんがあります      | ヨシタケシンスケ 作・絵  |

※図書館のホームページで蔵書検索ができますので利用してください。  
<http://www.library-karuizawa.jp/>

※図書館の利用にあたっては公共交通機関の利用をお願いします。

【問合わせ方】

中軽井沢図書館  
☎41-0850